

## 令和5年度第1回法政策等フォーラム型実験小委員会議事概要

- I. 日 時：令和5年8月28日(月) 17:00~19:00
- II. 場 所：公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局 ネット会議 (ZOOM 使用)
- III. 出席者：中村主査、高嶋委員、佐渡友委員、神澤委員  
事務局：井端事務局長、山田

### IV. 報告事項

#### 1. 前年度事業の開催結果

令和4年度(2022年度)及び令和3年度、令和2年度、令和元年度の4年度における法政策等フォーラム型実験授業の経過報告を事務局から資料に沿って行われた。特に、令和4年度は参加大学が神奈川大学の1大学となり、他大学を交えた意見交換が実施できなかった。しかし、プログラムでは有識者を交えたミニシンポジウムを初回に行ったことで、「ネット広告の影響を考える」テーマについて課題設定が円滑に行われ、5チームによる成果が見られたが、提示された問題点をインターカレッジの掲示板でどのように発展的に検討していくかという課題が残った。いづれにしても、実験授業に参加する学生の状況について、入念な計画を立てることを最優先することが必要で、見通しが立たない場合は実験を行わなくてもいいのではないかと、との報告・説明が行われた。

### II. 確認及び検討事項

#### 1. 令和5年度法政策等フォーラム型実験授業の進め方について

##### ① 実験授業の実施可能性について確認

中村主査から、実験授業に参加できる大学が少なくなることを踏まえて、メンバーを増やすことを優先して検討することの提案が行われ、意見交換した結果、令和5年度は実験を休止することにした。その上で、4年間の実験を振り返り、他大学学生との対話、有識者との対話による学びの質向上の成果や課題などを整理した上で、令和6年度に実験授業を企画することにした。

##### ② 本年度活動内容の確認

当面は、これまでの実験成果を踏まえ、ネット上で他大学の学生及び有識者を交えた法政策等フォーラム型PBLのPRを行うための構成案及び作成分担等について検討を行い、A42枚程度にまとめて令和5年度の「FD情報技術研究講習会」に紹介し、参加メンバーを増やすこととし、それに向けて委員会活動を展開することにした。

##### ③ 来年度に向けた活動計画のテーマ及び実験授業の進め方

来年度に向けた活動計画等の検討は、「FD情報技術研究講習会」の後で、令和6年度に検討することにした。

#### 2. その他 (今後の委員会の検討スケジュール)

次回の委員会は、令和5年10月14日(土)16時に実験授業のPRコンテンツの構成を中心に検討することにしたが、日程を変更し、あらためて令和6年2月22日(木)18時に開催することとした。